

浅香山中学校だより 第4号（7月号）



峠越え

令和8年6月30日
堺市立浅香山中学校
学校長 中谷 浩治



ホームページアドレス

<http://www.sakai.ed.jp/asakavama-i/>

携帯サイト

生活習慣を整えて夏休みに臨みましょう

～「3年間」という長距離走を走りきるために～

夏休み開始まであと3週間。これまでの3ヵ月は果たして長かったのか、それとも短かったのか。同じだけの時間を過ごしていても、過ごし方や気持ちの持ち方しだいで時間の感じ方は変わってきます。年齢を重ねるごとに時間が早く過ぎるように感じると聞いたことがあります。私に比べて生徒の皆さんはきっと長く感じていたことでしょう。

さて、この7月号では「光陰矢のごとし」や「時は金なり」ということわざがあるように、「時間の大切さ」について一緒に考えてみたいと思います。今から書くことは、特定の誰かを称賛したり、否定したりするものではありませんので、誤解のないようにしてください。

中学校卒業後、就職したりアルバイトを始めたりする人がいます。個人の事情によってお金を稼ぐ必要がある人もいれば、自分の自由になるお金を持ちたい人もいます。どんな立場でも、働くことを通して労働の大変さや責任の重さ、お金の大切さを知り、その体験はこれから先の人生で必ず生きてきます。



その一方で、学業や部活動等に専念することは、進学や就職、あるいは自分の夢など、次のステップに進むために時間を使うことであり、まさに「自分への投資」と表現できます。今は直接的にお金に結びつくわけではありませんが、知識や技能を高めていくことで、いずれ何らかの結果となって表れます。

中学校で義務教育期間が終わる以上、そこから先の進路選択は十人十色（じゅうにんという）です。選ぶ道が違って、人生のどこかで交差することもあります。また、同じ道を歩んでも数年後の結果が同じとは限りません。それは、誰と出会うか、どんな関わり方をするか、岐路に立った時どの選択肢を選ぶのか、予測不可能なことがあまりに多く、それらが複雑に絡み合っているからです。人はそれを「運」と呼ぶのかもしれませんが。

しかしながら、今は運任せで時間を過ごすにはまだまだ早すぎます。今の段階では気づいていないだけで、中学生の皆さんにはたくさんの才能や可能性があります。問題はそれにいつ気づくか、どうやって才能を伸ばしていくか、どうすれば可能性が広がっていくのかということです。そのために、まず「自分の現状」を把握することから始めましょう。長い夏休みをフル活用するために、今から自分の生活を整え、一歩ずつ前進していきましょう。

【7月行事予定】 July

日	曜	授業・行事	昼食	日	曜	授業・行事	昼食
1	水	水1~6 登校指導 PTA実行委	○	16	木	木1~3・学年集会・大掃除	○
2	木	木1~5 3年薬物乱用防止教室	○	17	金	道徳・学活・終業式	
3	金	金1~6 2年職業講話	○	18	土		
4	土	1年非行防止教室		19	日		
5	日			20	月	海の日	
6	月	月1~5 諸費振替日	○	21	火	3年補充授業(午前中) 夏休み	
7	火	火1~5	○	22	水	3年補充授業(午前中)	
8	水	水1~6	○	23	木	3年補充授業(午前中)	
9	木	木1~5 保護者懇談会予備日	○	24	金		
10	金	金1~4 保護者懇談会		25	土		
11	土	堺市学童集団下痢症を忘れない日		26	日		
12	日	諸費再振替日		27	月		
13	月	月1~4 保護者懇談会		28	火		
14	火	火1~4 保護者懇談会		29	水		
15	水	水1~4 保護者懇談会		30	木		
★7/1(水)堺市一斉登校指導 見守りをお願いします				31	金		
★7/16(木)学校給食を実施します。							

「安心して過ごせる学校」について考えましょう

浅香山中学校に着任した先生方から浅香山中学校の印象について尋ねると、毎年のように「優しい生徒が多い」といった感想を耳にします。修学旅行や校外学習などの取り組みにおいても活動が充実し、「とても良かった」、「みんながよく頑張った」という話を聞きます。

一方、SNSを巡るトラブルや友人同士の仲たがひ、ふざけやからかいなど日常的に起こるもめ事は、他校も本校もさほど違いがないのではないかと思います。以前、全校集会でも話しましたが、学校におけるケガの大半は「休憩時間」や「放課後」に発生し、不注意や誤解、思慮不足が原因となることが多いです。そんなつもりはなくても、結果的に誰かがケガをしてしまえば、もう時間を巻き戻すことはできません。

また、目で確認できない「心の中」も「傷つく」ことはあります。心無い意地悪な言葉や行為によって傷ついた心の回復には、想像以上に時間がかかるものです。生徒の皆さんにとって3年間しかない中学校生活ですので、毎日安心して過ごすことができるに越したことはありません。しかし、もしも学校生活のどこかに悲しさや寂しさを感じる瞬間や疑問があるならば、それは「みんなで考え、解決すべき課題」なのではないでしょうか。「言われて嫌なこと、されて嫌なことを他人にしない」ことは、集団生活を送る上での絶対条件です。

平和学習から震災学習へ

～73期生 熊本で学ぶ2泊3日～

本校ではこれまで平和学習を修学旅行の学習の柱としてきましたが、毎年のように発生する地震等をはじめとする自然災害に目を向け、ちょうど2年前に73期生の修学旅行を震災学習（防災教育）に切り替えることにしました。

最近では以前にも増して「南海トラフ地震」という言葉を耳にする機会が増えてきました。また、地域においても地震や津波を想定した防災訓練が実施されるようになってきたこともあり、今回の修学旅行のテーマはまさに現実をとらえたものであったと思います。

それでは3日間の行程を振り返ります。

★25日（月） 『熊本 震災学習』

新大阪駅の集合時間には誰一人遅れることなく、73期生の皆さんは修学旅行最初の課題を見事にクリアしました。

博多駅から水前寺観光センターに移動して昼食を取り、いよいよ熊本地震震災ミュージアム「KIOKU(キオク)」に向かいました。



10年前に発生した熊本地震は広範囲に渡って大きな被害をもたらし、たくさんの犠牲者を出しました。大きく破損した東海大学の建物やむき出しになった断層の一部を見ながら当時の様子を聞き、震災の恐ろしさを疑似体験することができました。また、地震によって崩れ落ちてしまった道路が残され、大変印象に残りました。

★26日（火） 『体験学習』

修学旅行2日目は阿蘇山ハイキングと乗

馬体験を行う山コースと、球泉洞という鍾乳洞探検と球磨川下りを行う川コースに分かれて体験学習を実施しました。コース選びは希望制によるもので、学年全体の3分の2は川コースを選んでいましたが、山コースを選んだ皆さんは阿蘇の草千里を満喫し、乗馬を楽しんだ後の昼食は忘れられない思い出になったのではないのでしょうか。

一方、川コースはヘルメットと長靴を着用して、高低差40mの鍾乳洞内を探検しました。人が通れるギリギリの隙間を進んだり、洞窟内の梯子を上ったり下りたりするハードな行程でした。球磨川下りでは2人の船頭



さんが操作する船に乗り、短時間でしたがささやかな船旅を楽しみました。

熊本城付近の城彩館で全員が合流し、買い物を楽しみましたが、熊本城は改修工事のため間近で眺めることができず残念でした。

2日目夜の宿舎レクでは司会者、出演者の熱演もあり、会場全体が「楽しもう」という気持ちで一つになり、73期生のエネルギーの大きさに圧倒されてしまいました。

★27日（水） 『大宰府天満宮』

最終日は残念ながら小雨に見舞われました。観光客や他校生であふれる参道では、各々買い物や食べ歩き



を楽しみ、境内では菅原道真公にあやかり学業お守りを買って求める姿もありました。

復路の新幹線内でもあちらこちらで会話やカードゲームを楽しみ、「3日間を無事に過ごし、元気な姿で帰る」という目標を達成することができました。

0157 堺市学童集団下痢症を忘れない日 7/12



今から30年前の平成8年7月、小学校給食に起因する腸管出血性大腸菌 O157 による堺市学童集団下痢症が発生し、児童7,892人を含む9,523人が罹患し、3人の児童の尊い命を失いました。

当時、「O157」という言葉にはなじみがなく、大変大きな衝撃をもって日本中に報道されました。そして、知るほどに恐ろしい症状を伴う食中毒であることがわかってきました。疑われた原因食材はありましたが、残念ながら特定されることがなく調査は終わりました。

その後、長期間に渡り入院生活を送ったり、後遺症を伴ったりした方もおられ、^{ようけつせいにようどくしやう}溶血性尿毒症候群を発症した児童が19年を経過し、その後遺症を原因として亡くなられました。

堺市は、二度とこのようなことを繰り返さないため、また、これからも被害者の方々を決し^{オーイチゴーナナ}て忘れず事件を風化させないことを目的として、7月12日を「O157 堺市学童集団下痢症を忘れない日」と決めました。

堺市にとってその事実は悲しい歴史となりましたが、家庭環境に関係なく生徒の皆さんが栄養価の高い食事をとり、心身共に健康に育てほしいという願いから、中学校においても中学校給食が始まりました。実施に当たりアレルギー対応を始め細心の注意を払い、家庭では大きな問題としないようなことでも、学校給食ではとても重要なこととして扱っています。最近では、準備や片付け等の活動に、当初の緊張感が少しずつ緩みつつあるようです。今一度みんなが初心に帰って「食」に対する意識を見直し、安心・安全な給食を継続できるよう、協力をお願いします。

6月の教科・部活動等の記録

部活名	大会名および種目		入賞者・結果など	
剣道	堺市研修大会	男子団体の部	優勝	3年男子 (拠点校A)
		女子団体の部	第2位	3年男子・2年男子 1年男子 (拠点校B)
陸上競技	春季泉北大会	男子100m走	第2位	3年男子 記録 11秒55
少林寺拳法 (学校外)	全国中学生少林寺拳法大会 大阪予選		優秀選手	3年男子 (全国大会出場決定 ※横断幕作成)

学校生活のキーワードは「和(わ)」「礼(れい)」「真(しん)」

「和」：仲良く、協力し合う気持ち。争いをやめること。

「礼」：敬うこと。感謝の気持ちを表すことば。礼儀。

「真」：いつわりでないこと。まじめなこと。真剣なこと。正しいこと。